

# NABARI

# News

Nabari Doku-budousyu Jiken  
Okunishi Masaru-san wo  
Mamoru Tokyo no Kai

名張毒ぶどう酒事件・奥西勝さんを守る東京の会

〒113-8463 東京都文京区湯島 2-4-4 5F

日本国民救援会東京本部気付

電話 03-5842-6464 FAX 03-5842-6466

URL <http://www.5a.biglobe.ne.jp/~nabari/>

## Contents

- ◎ 3.12 名古屋高裁・高検 要請行動報告
- ◎ 袴田決定と未提出記録
- ◎ 名張毒ぶどう酒事件の『約束』上映会報告
- ◎ 全国支援市民集会 700 名で大成功
- ◎ 名古屋高裁・高検要請行動に参加して
- ◎ 無実の死刑囚・奥西勝さんを励ます絵手紙、面会通信
- ◎ 宣伝行動スケジュール

## 袴田さんに続いて 奥西さんの釈放を !!

再審の扉を開けるためには、弁護団・支援団体の活動に加えて、世論の力がとても大切です。ぜひ多くの方々のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。



## 3.12 名古屋高裁・高検 要請行動報告

堀江恭子

今年、3度目の名古屋高裁・高検要請に行ってきました。参加者は、東京・長野・三重・愛知・大阪・兵庫から総勢 25 名でした。

まずは、名古屋高等裁判所。裁判所からは 3 名が対応しました。私からは、去年 2 度も危篤状態になった奥西さんには、時間が限られていること。そんな状態でも眼力で無実を訴えていること。名古屋高裁には幾度も審理がかけられているのだから、早急に決断をして欲しい、と訴えてきました。他の方々からは、証拠開示の問題と、奥西さんについて人道的見地からも釈放すべき、など、一人ひとり訴えをしました。裁判所の職員として、この奥西さんの状態をどう考えているのか、と問う

場面がありましたが、「みなさんのお話を確実に伝えるのが職務で、回答できる立場にない」とのことでした。

続いて、名古屋高等検察庁へ。22 名が参加しました。やはり 3 名が対応。公安課が 1 人いたのに疑問を感じました。高検には、ベッドの上で必死に訴えている奥西さんを見て欲しい。証拠類が沢山あるはずだ。証拠を全て出してから人を裁くのが当たり前。奥西さんには、時間がない。命の問題。証拠を隠したままに終わることのないよう、訴えてきました。他の方々も、とにかく裁判所の勧告がなくとも証拠開示をするよう、また、このまま奥西さんが獄死なんてことになったら、日本の裁判歴史に汚点を残すことになる、と強く訴えてきました。検察の方々にも、個人的な意見を求めましたが、回答はありませんでした。

た。

どちらにせよ、本当に裁判官や検事に奥西さんの訴えや私たちの想いが伝わっているのか…とても歯がゆい思いをしてきました。それでも、運動を続けていくことしかないと考えています。4月6日に名古屋で行われる「再審をめざす全国支援市民集会」を大成功させ、勢いをつけたいと思います。



## N 袴田決定と未提出記録

小澤克至

本年3月27日、静岡地方裁判所刑事第1部(村山浩昭裁判長)は、袴田事件の無実の死刑囚・袴田巖さん(78歳)に対し、再審開始決定を出しました。事件発生から実に48年を経て、ようやく袴田さんの無実の訴えが裁判所を動かしました。

裁判所は、刑の執行停止と併せ、拘置の執行停止を決定したため、袴田さんはその日のうちに無事釈放されました。刑訴法448条2項「刑の執行を停止」に拘置の執行の停止を含むと解釈する先駆的なもので、9年前の名張事件の再審開始決定でも同じように判断してくれたらとの思いが頭をよぎりました。

今回の袴田事件第2次再審請求審では約600点にも及ぶ検察官手持証拠が開示されました。その中には袴田さんが無実であることを示す証拠も多数含まれ、DNA鑑定と併せて今回の開始決定を勝ちとる要因となりました。

決定は、死刑判決の根拠となった証拠について、捜査機関により「ねつ造されたもので

あるとの疑問は払拭されない」とまで踏み込んで認定しました。名張事件もまた、葛尾集落の人たちの供述を「並々ならぬ努力」によって検事が変更させたり、王冠の鑑定書の写真の倍率を偽ったり、証拠のねつ造によって無理やり死刑にされた事件です。袴田事件につづき、検察が隠し持つ証拠を開示させ、再審無罪と奥西さんの釈放を勝ち取りましょう。

## N 名張毒ぶどう酒事件の『約束』上映会報告

国民救援会大田支部 小塚恒夫

国民救援会大田支部主催で映画『約束』を、盛況のうちに上映できました。3月14日(金)午後6時30分から大田産業プラザPio特別会議室3階において満席状態の80名余の参加者になりました。開会挨拶を園事務局長が述べ、上映時間が長いので直ぐに開始となりました。

大田支部としては、この上映会はまだ劇場公開される前に一度同会場で行っていることもあり、今回の参加者数の心配もありました。開催にあたって、大田区内の民主団体が発送している新聞にパンフレットを折り込み依頼したり、区内の労働組合事務所に園事務局長以下事務局員がオルグに回ったりして当日の開催になった経緯があります。

上映が始まる前に7割方が埋まりホッとしました。始まってからも続々と入場者があり、終わってみれば満席だった…と報告を聞いた次第です。

この映画は仲代達矢さん、樹木希林さんらの名演技もありました。しかしそれ以上に観客を感動させたのは事実の重みが大きくしたと思います。再審を開始させるまでに、人権を大切に思い最初に動き出した愛知県救援会の川村さんの努力です。そして少ない弁護士の20名以上の弁護団にした鈴木弁護士の努力がありました。それは、犯罪に使われたとい

われる毒物の違いを解析したり、開示された証拠写真を三次元分析で捏造と追いこみ、検察側が持っていたぶどう酒の王冠についた傷を自白させられたものでは一致しない事など丹念に弁護団が新証拠として提出し再審開始に持っていく。

これは国民救援会の事実尊重という事の積み重ねなので観客も鑑賞していて納得があったと思います。

名古屋高裁・小出裁判長が再審開始を出し退官、その後門野博裁判長が「取り消し」を出してから東京高裁に栄転したことが観客にわかると会場から「何んてこった」などという声も聞こえました。映画が終わり名張事件事務局員から、現在の奥西勝さんの状態説明を聞き、早く8次再審開始を願い会場をあとにしました。以上

## N 全国支援市民集会 700名で大成功

中村文子

桜が満開の4月6日、名古屋の鯉城ホールには奥西さんを救おうと全国から700名が参加して「えん罪名張毒ぶどう酒事件の再審開始を！再審をめざす全国支援市民集会」が開かれました。

名張事件全国ネットの宇佐見さんから「袴田事件で再審開始と刑の執行停止、そして袴田巖さんの釈放も実現した。これを追い風に名張事件も解決したい。袴田事件の再審開始の決定的要因はやはり証拠開示だ。」とあいさつ。

弁護団の小林修先生から、「名張事件も歯痕の松倉鑑定やブドウ酒到着時刻の供述の一斉変更など捏造証拠により死刑判決が出された。再審請求審では、毒物問題が焦点となり審理を続ける中で、検察がコロコロと主張を変え裁判所がそれを認定して、確定したもとの証拠とかい離してしまっている。毒物の立証責

任は検察にあるが、最高裁が認定してしまったので、第8次請求審では、弁護団が再現実験を行う予定。」との報告がありました。

特別面会人の稲生さんからは、「3月27日静岡地裁で袴田さんの再審開始・刑の執行停止・拘置の停止の決定を確認してから、奥西さんと面会して伝えた。「うんうん」と頷き、「よかった」と言ったように見えて、奥西さんにも9年前の4月5日の再審開始、刑の執行停止に併せて、拘置の停止が欲しかった、との想いがつづいた。以前は別れ際に奥西さんに「頑張ってください」と言っていたが、今は言えない。自分たちが頑張らなければならない。」

袴田巖さんの姉秀子さん、福井事件の前川さん、東住吉事件の朴さんのお母さん、豊川事件の田邊さんのお父さん、北陵クリニック事件の守さんのご両親、布川事件の桜井さんから、それぞれ訴えがありました。

署名を5万、10万と集める、毎月の名古屋高裁・名古屋高検要請の行動提起がされ、最後に、一刻も早い再審開始と奥西さんの即時釈放、証拠開示を求める要請を参加者全員で「再審」のプラカードを掲げて決議しました。



## 名古屋高裁・高検要請行動に参加して

深澤 亮

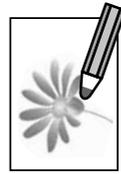
前日に集会に参加し、奥西さんを一刻も早く救わなければ！と更に思いを強くしてから要請行動に行ってきました。また、東京からは総勢9名が参加しました。まずは高裁への要請でした。全国から多くの方が参加していました。ほとんどの方が前日の集会からの参加者であった為か、みなさん様に奥西さんを早く無罪にという強い気持ちを持って言葉を発しているのが分かりました。

自分はひと言だけですが、「裁判所は科学に対して謙虚になるべきだ」と言ってきました。これまでの判決や決定を見ていると裁判官は科学的見地を全く考慮せず、独自の判断で判断しているかと思っていたからです。これでは弁護団がどれだけ大変な思いをして科学実験をして奥西さんが無罪であるという結果が出ても無意味になってしまいます。

次に高検への要請です。高検要請へも高裁同様多くの方が参加していました。イスが足りず立って要請に参加するような状況でした。

要請では多くの方も同様のことをおっしゃっていましたが、「検察庁は未開示の証拠を直ちに全て開示するように。証拠の収集能力は警察・検察しかもっていないのに全部開示しないで裁判をすることはおかしい。」と言ってきました。他の冤罪事件でも証拠の開示により再審開始から無罪になった事件があります。名張事件でも検察庁が数多く隠している証拠の中に必ず奥西さんを無罪にする証拠があると自分は考えています。それを隠しながら奥西さんを拘束し続けるのは不当としか言いようがありません。

今後も要請行動は続くので積極的に参加をし、奥西さんを早く救いだす一助になればと思います。



## 無実の死刑囚・奥西勝さんを励ます絵手紙、面会通信 No.250

2014年5月7日

国民救援会愛知・中央本部顧問 特別面会人 稲生昌三

●4月上旬から桜、桜草、垂れ桜、芝桜と移り行く開花、チューリップや色鮮やかなパンジー、山吹や桃、藤の花やどこに行ってもツツジが満開、奥西さんの気分を少しでも励ますよう絵手紙と写真を送り続けてきました。青葉若葉の木樹、田植えの盛りも伝え、気力を失わないことを願って弁護団や支援運動の様子も送り続けてきました。

弁護団・毒物に関する検察と裁判所の非科学的な判断の誤りに対する新実験による主張の展開予定、証拠の全面的な開示勧告を求める意見書、新たな状況証拠に関する鑑定と主張の展開予定、4月25日の三者進行協議の様子、支援運動では7百名の支援集会の成功に続いて、大須観音宣伝17年、201回目、19名参加で70筆、「約束」ドラマ上映は名古屋天白・百余名、西三河・高浜市で145名、横浜や水戸（5月10日）での開催、名古屋北区や港区、滋賀県で更に4ヶ所開催予定などなども伝えてきました。署名3万を早期に5万へ、毎月の名古屋高裁と高検への要請行動とともに支援の集中に努力していることも伝えて来ました。

●5月7日の午後、面会に伺いました。「奥西さん、判りますか。稲生です」と声を掛けると閉じていた目を開け、ウンウンと頷いて、一生懸命に語りかけて来られます。弁護団や支援運動の様子を伝え手を握るとやはり冷たく、私の手の温かさなのか目を閉じて少し握り替えしてこられました。血圧上112、下65、呼吸20、脈拍85は以前と比べると低く

感じました。話し掛けた反応は特に変わりありませんでした。妹・岡美代子さんが4月末に面会に出かけられての様子と変わり無いようです。また「ありがとう」の反応などは変わりありませんでした。「又来ますから…」と手を振っての別れにも腕力が低下してきていたとのことでしたが手を振って応えておられました。

今回の面会は5月21日（水）午後1時、福井女子中学生殺人事件・最高裁要請を終えて予定。6月は4日と19日に予定しました。

●絵手紙は約2百枚が今年に入って送られています。春を告げる絵手紙が今は送られていますが、「頑張れ奥西さん」「私も支えています」「無実を信じて署名を集めています」など生の言葉の励ましが沢山です。今日も「奥西さんに見せてあげてください」と強く要請してきました。是非、引き続き励ましのためにも送って頂きますようお願いいたします。

●アムネステイ日本委員会の事務局長と午

前にお話し、発行したリーフレットを数百枚送付して頂くこと、袴田さんと奥西さんへの連帯・支援のアクションが進められていますが、奥西さんの場合に直接発信が難しいこともあり、稲生宅に送付、面会の際に紹介、伝えることにしました。また、情報の交換を密にして、必要な時期に検察への集中した要請や法務省、国会議員への働きかけなど打ち合わせをしてきました。

●第8次再審へ、弁護団の毒物に関する実験と科学的な実証の主張と棄却決定への批判、証拠の全面的な開示要求、新たな状況証拠に関する主張、奥西さんの病状と近況、いま、何が重要か、行動の緊急性の学習と認識の一致が重要と思われれます。また、引き続き「約束」ドラマの上映、早期に5万突破が重要です。高裁と高検への要請行動と3万の署名の5万突破へ力を集めましょう。5・20再審えん罪全国宣伝行動の成功へ、全国の広がりを願って面会を終えて来ました。

## ◆宣伝行動スケジュール（主要駅頭）

・5月17日（土）午後4時～  
八王子駅 北口デッキ上

・5月19日（月）  
名古屋高裁・高検要請

・5月21日（水）午後6時～  
両国駅 国技館側

・6月13日（金）  
名古屋高裁・高検要請

・6月17日（火）午後6時～  
御徒町駅 上野松坂屋前

・7月10日（木）  
名古屋高裁・高検要請

・7月17日（木）午後6時～  
水道橋駅 お茶の水方面出口

・8月9日（土）午後4時～  
八王子予定

午後5時～  
暑気払い（ロマン地下街）

みなさまのご参加  
お待ちしております！

